

ネットリテラシー特集

情報モラルの土台となるインターネットの知識

こどもを守るための「個人情報流出」の基礎知識

わかやまネットトラブル相談窓口にも個人情報流出の相談があります。例えば、「インスタグラム上に住所や電話番号を投稿された」というようなケースです。こどもたちは不安になり、「どうしたらいいですか?」とチャットに書き込んでくれますが、私たちも頭を悩ませます。流出した情報は簡単には消すことはできません。投稿した本人に消してもらうことが基本です。



個人情報とは何か?

個人情報とは、「氏名・住所・電話番号・生年月日」など、特定の個人を識別できる情報のことを指します。写真や動画、学校名、SNSのユーザー名、さらには「今日の帰り道」「いつも行く公園」などの投稿内容からも、個人が特定される可能性があります。こどもたちは日常的にスマートフォンやタブレットを使い、無意識のうちに自分や家族、友人の情報を発信してしまうことがあります。そのため、「何を出したら危険か」を具体的に教えることが重要です。

個人情報とは

氏名



住所



電話番号



生年月日



「今どこにいるか」「いつもどこにいるか」
がわかるような情報

情報が流出する主なケース

個人情報の流出は、悪意ある第三者の攻撃だけでなく、「うっかり投稿」や「軽い気持ちの共有」からも起こります。

情報が流出する5つのケース

1. SNS への投稿	制服姿や通学路、学校行事の写真を投稿し、場所や学校が特定されてしまう。
2. 友達とのやり取り	LINE や DM で個人情報を送信し、それがスクリーンショットで拡散される。
3. アプリやサイト登録	無料ゲームや診断アプリで、住所や連絡先を入力してしまう。
4. クラウドや共有リンク	共有範囲を誤って設定し、誰でも見られる状態になっている。
5. 紛失・盗難	スマホや USB メモリの紛失により、保存データが流出する。



これらはいずれも「ちょっとした油断」から始まります。特にこどもは、「相手が友達だから大丈夫」「有名人もやっている」といった判断をしがちなので、リスクを体験的に学ぶ指導が必要です。



流出すると何が危ないの?

個人情報が流出すると、住所や通学先が特定されることによる犯罪被害や、写真の無断転載・加工、ネット上での誹謗中傷などにつながるおそれがあります。一度ネットに出た情報は完全に消すことが難しく、削除後もコピーやスクリーンショットとして残ることがあります。



こどもにとって深刻なのは、こうした被害が「自分の知らないところ」で進行する点です。知らない人に自分の写真が使われている、知らない掲示板で名前が出ている。知らない間にそのような状況となり、精神的なダメージを負うこととなります。

学校や家庭でできる指導のポイント

1 「公開」と「共有」の違いを教える

SNSなどで「友達だけに見せているつもり」が、実際には不特定多数に公開されている場合があります。「共有」と「公開」は違うこと、また「友達の友達」は知らない人かもしれないことを具体例で伝えましょう。

2 写真や動画は「背景」に注意

家の表札・制服・学校名・位置情報など、写真の背景から個人が特定されるケースがあります。撮る前・投稿前に「背景チェック」をする習慣をつけましょう。



3 「消せば大丈夫」ではないことを理解させる

投稿を削除しても、誰かが保存している可能性があります。「投稿＝半永久的に残る」と伝えることが効果的です。



4 困ったときは一人で抱え込まない

個人情報の流出やトラブルが起きた場合、こどもが一人で対処しようとする被害が拡大してしまう場合があります。困ったらすぐに先生や保護者に相談するよう指導しましょう。

5 大人も「共有の仕方」を見せる

先生や保護者自身が、こどもの写真や作品を SNS に載せるときにも注意が必要です。撮影・掲載の許可を取る、タグづけを控える、学校名を明示しないなど、大人が見本を示すことが大切です。

個人情報が含まれていないか、
投稿前にもう一度チェックしよう！



個人情報の流出は、技術的な問題ではなく、「人の行動や判断」によって起こるものです。大人が「禁止」や「恐怖」で指導するだけでは、こどもは納得して行動を変えません。「なぜ危険なのか」「どんな結果になるのか」を一緒に考え、**自分の情報を自分で守る力＝デジタルリテラシー**を育てることが、これからの時代に最も重要です。先生や保護者が同じ目線でこどもと向き合い、「正しく怖がる」「自分を守る選択をする」習慣を育むことこそ、個人情報流出からこどもを守る最善の方法です。



ネットリテラシー 今月のポイント

- 何をしたら危険か、なぜ危険なのかを具体的に学ぶ
- 一度流出してしまうと簡単には消せない
- こどもと同じ目線で一緒に考え、リテラシーを育てる

心理

公認心理師・臨床心理士 浅井 育子先生のコーナーは今月はお休みします。



2025 年 9 月のネットパトロールで発見された問題投稿は 20 件。そのうち迷惑・危険行為が 15 件、喫煙が 2 件、個人情報流出が 3 件発見されました。迷惑・危険行為の投稿では、店内で購入されていない商品を身に着けた写真や、商品を使って遊んでいる動画が発見されています。また、自転車やバイクに乗りながらの撮影や危険な運転をしている様子の投稿も見られました。個人情報流出は自分だけでなく、友人の情報が表記されているものも発見されています。

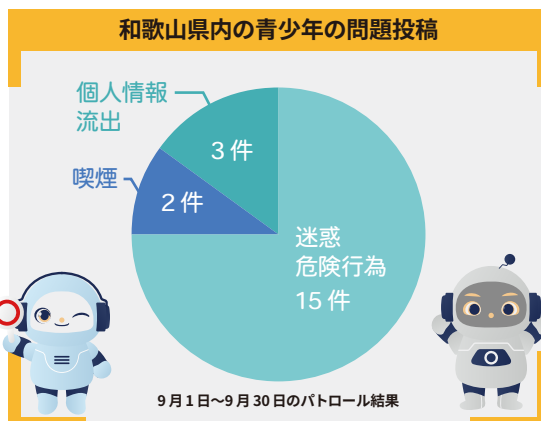
分析 意外なところから個人情報が流出しているかも

ネットを検索すれば様々な情報が簡単に手に入る時代。SNS に投稿する上で個人情報の管理は自分の身を守るために大切なことです。学校等でもセキュリティの重要性を勉強する機会があり、「自分の情報管理はしっかりやってるよ」という方も多いと思います。しかし、情報の流出は自分から起こるとは限りません。今回のパトロールで発見された個人情報の流出は 3 件、そのすべてに本人以外の情報が載せられていました。そのうちの 1 件を例に挙げて、個人情報流出の流れを解説していきたいと思います。

SNS に投稿されていたのは、友人 5 人で撮った集合写真です。投稿を公開している人物以外の 4 人はアカウントが非公開になっており、プロフィールにも学校名・年齢等は記載されていませんでした。しかし全体公開されている写真には顔だけでなく学校名・名前・アカウント ID が記載されていたため、非公開になっていても個人の特定ができるような状態になっていました。

こういったケースはかなり多く、学校名が書かれていなくても着ている制服で学校が分かってしまったり、体操服に名前が書かれていたり、あらゆるところから情報が流出している可能性があります。また友人に無許可で写真を掲載した場合、肖像権の侵害になってしまい悪質な投稿になると損害賠償を請求されたり、状況によっては法的手続きをとられることもあります。

「友人との思い出の写真、せっかくだからみんなに見てほしい!」と思うかもしれませんが、自分と友人の安全、今後のリスクなども考えた上での SNS の利用を心がけましょう。



出張情報モラル講座

最新のニュースやこどもたちの関心に合わせた内容作りを心がけています

情報モラル講座では、学校や講義時間に合わせてクイズや質問の数を調整するなど、毎回工夫を重ねています。また、最新のニュースや、こどもたちが自分ごととして興味を持ちやすい話題を随時取り入れ、内容を更新しながら進めています。

9 月は 2 校で講義を実施しました。まだ残暑が厳しく、体育館では集中しにくい様子も見られました。アイスブレイクを取り入れたり、途中で休憩を挟んだりしながら、会場や時間に合わせて楽しく取り組める講義を心がけていきたいと思っています。



講座日	学校名	講座内容	対象生徒の学年	人数
9/2	新翔高等学校	犯罪やトラブルの防止	高校1～3年生	240名 (教職員40名)
9/12	南部小学校	犯罪やトラブルの防止	小学6年生	43名 (教職員5名)

小学校・中学校・高校・支援学校からのお申し込みお待ちしております。



ネットトラブルの相談、お待ちしております

24 時間、チャット bot で相談いただけます！ ネットトラブルの相談窓口がオープンしました。右下のリラちゃんのボタンからチャットを行うことができます。24 時間、チャット bot が自動で対応するため、気軽に相談ができます。平日 15:00-19:00 には希望すれば相談員とお話することも可能です。



こんな相談がありました

「有料の動画サイトに登録して動画を見たのですが、アカウントのパスワードが分からなくて解約することができません。」動画サイトに限らず、パスワードが分からなくなるとするのはよくあるケースです。本来であればサイト運営に問い合わせることで、パスワードの変更手続きができますが、サイトによっては問い合わせメールが送れない、メールを何度送っても返信がないこともあります。

今回のケースは、パスワード変更手続きができず、メールの返信もないため解約することができないというものでした。こういった場合、残念ながら対処の方法はありません。サイト運営者に対応してもらう以外に解決の方法がないため、返信が来るまで問い合わせ続けることしかできません。メールの返信がすぐに来ないというケースは、合法のサイトでもよくあることです。そのためアカウント作成前に利用規約をしっかりと読み、登録したパスワードを記録しておくようにしましょう。



インターネット上での こんなことを相談いただけます！

- アカウントを乗っ取られた
- 無断投稿を削除してほしい
- 暴力的な表現の投稿を見つけた
- 危険な行為の投稿を見つけた など



青少年

保護者

学校関係者

支援機関

こんな機能もあります！

ネット動物診断や未来予測クイズなどでお試しできます！

チャットで相談する練習ができるように、こどもたちが楽しめる診断やクイズも用意しています。申し込みは不要ですすぐにお試しいただけます。ぜひ授業などで試してみてください！

先生方や保護者、支援機関からの情報提供・相談も受け付けます。

わかやまネットトラブル相談窓口では、先生方や保護者の方からの相談も受け付けています。問題のある投稿を見つけた、この問題に対しての対処方法を教えて欲しいなど、インターネットのトラブルに関連する様々な解決をお手伝いします。web サイト右下のチャットからアクセスして、ご相談をお寄せください。



**わかやま
ネットパトロール通信**

令和7年度「青少年ネット安全・安心のための環境整備事業実施業務」
企画・制作：TETAU 事業協同組合

お問い合わせ

TETAU 事業協同組合

050-5536-9139 (平日 10:00~16:00)

netpat@tetau.jp (担当：森脇・信貴・中村)

和歌山県 共生社会推進部 こども家庭局 こども支援課

TEL：073-441-2502 FAX：073-441-2491

メール：e1104001@pref.wakayama.lg.jp